

# 会 議 録

## 1 会議名

第5回柿崎区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 協議事項（公開）

- ・地域の皆さんと地域協議会委員との懇談会の振り返り
- ・頸北地区地域協議会委員合同研修会について
- ・地域活動支援事業検討委員会について
- ・柿崎区地域協議会視察研修について

### (2) 自主的に審議する事項（公開）

- ・柿崎区保育園にかかる課題と今後について

### (3) 報告事項（公開）

- ・市からの報告
- ・7月1日からの大雨による被害状況等（柿崎区）
- ・新潟県警察本部運転免許センター上越支所について

### (4) その他（公開）

## 3 開催日時

平成29年7月27日（木）午後6時30分から午後8時22分まで

## 4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ 305～307会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く） 氏名（敬称略）

- ・委員：長井洋一（会長）、小出優子（副会長）、片桐充、加藤満、金子正一、  
佐藤健、白井一夫、高野武夫、武田正教、新部直彦、榆井隆子、

湯本清隆、吉井一寛、渡邊征雄

- ・事務局：柿崎区総合事務所 南博幸所長、佐藤誠司次長、風巻雅人総務・地域振興グループ長、大橋靖夫産業グループ長、古屋靖夫建設グループ長、島岡聡市民生活・福祉グループ長、唐澤幸代地域振興班長、長井英紀主任（以下グループ長はG長と表記）

## 8 発言の内容（要旨）

### 【風巻G長】

- ・会議（地域協議会）の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明

### 【長井会長】

- ・会長挨拶
- ・会議録署名委員に新部委員を指名

### 【長井会長】

協議事項（1）「地域の皆さんと地域協議会委員との懇談会の振り返り」に入る。

23日の下黒川地区懇談会の概要は、今日皆さんの手元に配付してある。

また、事前に送付した概要に誤りがあり、修正したものを配付してあるので差し替えをお願いする。

6地区に出向いていろいろな話をしてきた。その内容をまとめていただいている。各地区で様々な意見をいただいたが、感想や意見など聞かせてほしい。

こちらで設定した課題の中の「災害発生時の町内会や保育園、学校などにおける子どもや高齢者の避難支援体制」について、多くの意見を聞かせていただいたし、下黒川地区や黒川・黒岩地区では7月の大雨の後ということもあっていろいろな話が出た。その辺で感想などはいかがか。

6つの地区それぞれで防災に対する意識が全然違うと感じた。防災に対する取り組みや意識が非常にはっきりしているのが川西地区と正直地区で、防災訓練をきちんと実施しておられる。柿崎地区は比較的意識が低いと感じたが、出羽の町内会長さんは訓練をしなくてはならないという話はされておられた。あと七ヶ地区など災害の被害を受けたことのない地区は意識が低いと感じた。

柿崎区全体で防災意識を高めていくとしたら、区全体での防災訓練などを提案していかないと全体が盛り上がらないと感じる。

#### 【片桐委員】

たくさん意見が出ていたため、この場でどうするという話にはならないと思う。テーマを絞ってやらないと、どこから整理してよいのか分からない状況だと思う。

私は1つ2つの意見があるが、このことについてどこまで地域協議会として話をしていくのかを考えないといけないし、今日この場で話し合っただけで終わりにするのか継続してやっていくのか、例えば斎場の問題のように検討委員会を作ってやるとか。全体で話をしてもなかなか意見が出てこないと思う。

#### 【佐藤委員】

柿崎区として自主防災組織の確立は100%であるが、それに伴う活動の内容自体を町内会長が分かっていない。自主防災とは何かということを町内会長が把握されていないのが一番の欠点ではないかと感じた。

今後どのようにやればよいのかとなると、柿崎区としても防災士会の支部が立ち上がったので、各町内会とタイアップしながら取り組むのもよい活動と考える。

今後は行政からも自主防災に関する指導を実施していただきたいと感じている。

#### 【長井会長】

防災だけではなく、今回の懇談会のとりまとめをどうするかを含めて意見を出していただければと思う。

いろいろな意見を出していただき、その後まとめに入っていきたいと思う。

### 【片桐委員】

大きく分けると災害時の避難の件と空き家・空き地の件の2つのテーマがあった。

その他の部分で私が感じたのが黒川・黒岩地区のデマンドバスの件と七ヶ地区の若い人がどうしたら定着するかという件、あと1つ川西地区で上下浜駅に南口を造るという件。私個人としては、これらはこの場でいくら話し合っても結果の出るものではなく、無理なのではないかと思っている。

大区分で幾つかの項目を挙げていただき、その中で話し合うテーマを決めた方が良いと思う。今日1日で終わるのであれば災害時の避難の状況と空き家とその他感じたことで話をすればよいと思うし、今日1日で終わらなければ今日はメインの2つのテーマにして、次回はその他の部分を行うとすればよいと思う。

### 【吉井委員】

この懇談会を始めるに当たって委員会を作った。私はその委員会ができた時点で、このテーマを設定してそれをすべて委員会でまとめていただき、その後で委員会ではこういうふうにとまとめたという話が出てくると思っていた。それをいきなりどうですか皆さん意見を言ってくださいといわれても、大きな話と枝葉の話があり、それを1個1個やってもまとまらない。今日は14人の委員がおられ、1人から1分ずつ意見を聞いても14分掛かる。私はそういう会議の進め方はどうかと思う。委員会を作っていただきテーマを設定していただいたわけだから、委員会でまとめていただきたいと思う。

### 【武田委員】

委員会において、各会場から出た意見で関連性のあるものを振り分け、大きく分類するとこんな問題が出たと報告していただき、それに対して協議会として対応するものや市にお願いするものなどを協議し、このように行いますと各地区に報告しないと、聞きっ放しではいけない。

### 【長井会長】

今意見が出されたように、実行委員の皆さんから各地区で出された意見を整理

していただき、その後協議会で協議することでいかがか。

#### 【新部委員】

実行委員会でまとめるというのが、どんな風にまとめるのか。各地区で出された意見は読めば読むほどそれぞれに特色があり、市に対する要望的なものにまとめるのか、単にこんな意見がありました、6会場でこんな意見が多くありましたとまとめるのか、そのまとめ方の方向性が分からない。地域協議会としてただまとめて区の皆さんにこんな意見がありましたと報告するのがいいのか、あるいは地域協議会としてこういう意見があった、これに対してはこうしていきたい、これは行政に対して要望を出したい、とするのか。その辺が定かでないで実行委員会を開いても私は意見が出せなく勘弁してもらいたくなる。

#### 【長井会長】

出てきた意見でこれは市長に挙げた方がよいと思われるものはまとめて意見具申できる。

柿崎区で取組んだらよい方向に行くもの、例えば柿崎区全体で防災訓練を行い各町内会からは必ず参加していただき防災意識を高めるといような、我々地域協議会から提案して総合事務所や町内会長と一緒にやって行くものなどと、私はそんなものができればよいと思った。

また、空き家対策に関しては地区によってかなり差があった。町内会の中の組織がきちんとしているところは比較的問題になっていない。地域の絆や繋がりをどうやって密接にしていけるか、そういう協議をしていけば、こうしていけばどうかという提案が地域協議会からできる。

どうしたらこれらの意見が活かせるかを皆さんから考えていただき、ご意見を聞かせていただきたい。

#### 【榆井委員】

地域協議会がどういう活動をしているかをアピールしたいという目的も懇談会の中にはあったと思うので、言いつ放し聞きつ放しでよい部分もあると思う。しかし、中には地域協議会としてこれをとりあげてほしいとはっきり言われた意

見もあったので、地域協議会で話し合った方がよい内容かどうかをもう一度委員会で精査する必要があると思う。

**【佐藤委員】**

ここでは結論は出ないから、実行委員で集まっていたきその中で意見を調整した方がよいのではないか。

**【長井会長】**

実行委員の皆さんに下駄を預けるようになるが、それでよろしいか。

**【各委員】**

- ・「はい」「お願いします」の声が出る

**【長井会長】**

では、実行委員会でまとめていただき、それを地域協議会の中で揉んでいきたいと思う。

実行委員でない方も含めて、せっかく6会場を回られたわけですから、ご意見を感想も含めてもう少し出していただけたらと思う。

**【金子委員】**

黒川・黒岩地区は地域の大きなテーマとして、車を持ってない、あるいは自分で交通手段を持ってない人の交通対策としてデマンドバスと言われていた。他に七ヶ地区や正直地区でも出た。路線バスとの兼ね合いもあるだろうが、これからの高齢者が一番困る状態の中で、特に黒川・黒岩地区では地域協議会で検討してもらいたいと言われており、この高齢者の交通対策をどの程度できるかは別として、地域協議会で検討すべきと感じた。

**【白井委員】**

私は6地区すべて回ったが、その中で災害に対する意識・認識の違いを感じた。例えば今回の大雨については、比較的海抜の低い所、川に近い所が水害に合っ

いる。私は3区だが雨が降っても水が溢れる心配はない。逆に心配なのは地震に伴う津波である。そうすると災害に対する認識が違ってくると思う。その意識の違いをどうするかが問題である。

また、区全体としての避難訓練は何年も行われていない。私らに水害に対する避難訓練と言われてもピンとこない。区全体の避難訓練を行うにしても、それぞれの区域に合った訓練を設定しないと意味がないと思う。その辺も実行委員会で決めるのか。

#### 【榆井委員】

感想だが、今回はテーマを決めて話し合ったので、それぞれ地域の状況が分かったが、町内会長さんが出て来てくださらないとお手上げのテーマだった。実際に正直地区は3町内会しかなく、直海浜の町内会長さんをお願いしたが欠席され説明できなかったという状況であった。

町内会長さんからはよい話をたくさん聞いたが、もっと若い人とか色々な世代の人達の話を知りたかった部分もあり、もう少し柔らかなテーマも交えてあった方がよかったと思った。

#### 【長井会長】

先程から話が出ているが、懇談会実行委員会でもう一度まとめの会議を行っていただき、地域協議会で取組む事などを取りまとめていただいたうえで、今後の地域協議会に提案していただき検討するという事によろしいか。

#### 【各委員】

- ・「よし」の声

#### 【長井会長】

では、懇談会実行委員は、小出委員、薄波委員、金子委員、佐藤委員、白井委員、新部委員、榆井委員、渡邊委員にお願いします。

これで懇談会の振り返りについては終わりとする。

次に、2番目の「頸北地区地域協議会委員合同研修会について」に入る。

・資料No. 1 を基に、研修会内容を説明

**【長井会長】**

協議事項の（３）「地域活動支援事業検討委員会について」に入る。

昨年、地域活動支援事業の見直しを含めて検討委員会を設置し検討していただいた。今年も今回の地域活動支援事業の審査に当たってのいろいろな問題点を検討いただく委員をお願いしたいと思う。

昨年は委員 8 人を選び検討していただいた。

今日は委員を選んでいただき、検討委員会を開催し作成された素案を 11 月、12 月の地域協議会に提案いただき、来年度の方針が決まる形になる。

時間的な余裕は少しあると思うが、これから委員会を立ち上げていきたいと思う。検討委員をやっていただける方いかがか。

**【新部委員】**

前回と同じ人が行くと同じ答えを出してしまうので、違う人にやってもらったらどうか。

**【長井会長】**

では、昨年度やられた方でない方を指名させていただく。

片桐委員、金子委員、高野委員、武田委員、引間委員、湯本委員、薄波委員、そして長井の 8 人で、よろしくをお願いしたい。

**【長井会長】**

次に、協議事項の（４）「柿崎区地域協議会視察研修について」に入る。

例年 10 月、11 月に行っている。事務局とも調整し今年は 11 月に視察研修を計画したい。

昨年は農業視察を地元で行った。今年は小出委員から提案が出ており説明願う。

**【小出委員】**

今回の懇談会でも「空き家」とか「若い人がいない」など、いろいろな課題が



出された。ここに参考として資料を配らせていただいた。

- ・以降、資料「空き家活用と定住人口増加策についての研修」について説明し、富山県射水市への視察を提案した。

**【長井会長】**

小出委員から提案があった。

皆さんからも提案があれば出してほしい。

**【佐藤委員】**

十日町も同じような取組みを行っている。そこも検討の余地があると思う。

**【長井会長】**

いつも1日の行程になり委員の皆さんには大変な部分もあるが、地域協議会委員の資質向上の面で計画しており協力願いたい。

今日はまだ場所を決めなくてよいと思うが、検討いただき次回にいろいろな提案をだしていただき決定する形でよろしいか。

**【各委員】**

- ・「はい」の声

**【長井会長】**

協議事項を終え、次に自主審議事項「柿崎区保育園にかかる課題と今後について」に入る。

保育園に関するいろいろな話が出されているが、どう進めていけばよいのかご意見を伺いたい。

保育園の現状はどうなのかが分かっていないので、柿崎区4つの保育園を見ておく必要があると思い、予定もしている。

**【佐藤委員】**

先回、時間を掛けて協議しましょうと決めたのではないか。合併するのは、地

域の意見も出ていなので、もう少し慎重にやりましょうと決めたのではないか。なぜここでまた繰り返すようなことを出すのか。

#### 【長井会長】

柿崎区の保育園を将来どうしていくのかは大事な話であり、自主審議にのっているが統合ありきで話が進んでいるわけではないので、その辺はご理解をお願いしたい。

自主審議でいろいろな意見を出していただき、それを基にまとめていきたいと思うがいかがか。

#### 【吉井委員】

この件に関して調べる必要があると思った事は、川西地区の懇談会で三ツ屋浜の町内会長が、保育園の話を柿崎区地域協議会が止める決議をした。どうしてなのだという意見を言われた。それはどういう事なのか私も分からないので、過去の保育園に関するいろいろな審議・検討内容はどうかを一度整理する必要があると思う。

もう1件は、市の保育園担当の課長さんが来られ、いろいろと説明を受けた。お帰りになった後、行政指導で言われたからやるというスタンスは取りたくない、もう少し時間を置きましょうという話になったと思う。このままで行くと行政から保育園について諮問が出てくるのではないかと思う。諮問が出てきてから我々が協議し返答するというのは得策ではない。

自主的審議で提案書を出すということは置いて、柿崎区の保育園はどうあるべきかという協議は我々地域協議会では避けて通れない。だから時間に縛られないで協議していく必要があると思う。

#### 【小出委員】

区内の保育園と新設された所に出向いて見てみることも、あたふたしないために知識として持つ意味でよいと思う。

**【長井会長】**

三ツ屋浜の町内会長から話があったのは上下浜保育園の大規模改修の件かと思うが、大規模改修は地域事業費で行う予定を費用が削られてしまった経緯がある。

その経過を総合事務所で分かる方はおられるか。

**【南所長】**

保育園建替えの件は詳しくは承知していない。今のお話の中で「地域事業費が削られた」と話されているが、そうではなく地域事業費という概念をなくしたが必要な事業（旧地域事業）は一般の予算の中で取り組んでいる。廃止した事業については、地域の皆さんで話をさせていただき地域協議会で決めた。そういう扱いで進んできている。行政が一方的に取り止めたことではないので、誤解のないようをお願いしたい。

**【長井会長】**

経過を調べられるか。確か上下浜保育園は地域事業費の中で大規模改修をして存続させる方向であった。それが事業費の見直しなどで削られたようだが。

**【南所長】**

そこは調べれば分かる。

**【長井会長】**

柿崎区の保育園を何とかしたいとなると第3期の計画に載せないと何年後まではほとんどかまえない状況であることはご存じと思うが、直さなくてもこの次の計画が終わるまでは何ともないことは事実と思われる。

そんなことから時間をかけて協議しようということかと思う。

**【武田委員】**

時間をかけてと言われるが、平成26年11月までは地域協議会で検討していたわけだ。その後時間を置いて、合併特例債があるからと急にまた出てきた気が

する。そうではなく、あくまでも柿崎の保育園を最終的にどういう形に持っていくか、建替えがよいのか、4か所でよいのか、何がベストなのか、そこを検討し、いつでも結論が出せる状況を作っておかないと、急にこの話が出てどうしましうかとなる。

今からデータを集め、以前の問題点は何か、柿崎では何がベストなのか形を作っておき、それから金銭的なものを市に要求していくために協議していかないと、いつまでたっても長い目で見ればよいということになる。

#### 【長井会長】

市の保育課から提案があったとおりでは難しいと思う。柿崎区の協議会で協議したものを市へ要求していく方が良いと思う。現状を把握し急ぐ必要があるか無いかを判断していただくために4つの保育園を観ていただきたいと思うが。

#### 【榆井委員】

このメンバーになり1年目には全く出なかった話が最近になって柿崎区で自主的に審議する事項として突然出てきた。それまでの経緯が分からなく少しびっくりして受け止めた。以前の話を知りたいことが1点。もう1つは、行政側から話が出てくると地域協議会は行政と一緒にあって合併ありきで話を進めようとしているのではないかと住民の皆さんに誤解を持たれかねないので、私達の立場を考えて実際に皆さんがどういう希望があるのかを先にこちらでいろいろ話し合うのが順番だと思う。

#### 【長井会長】

榆井委員から今年になって突然にという話があったが、この前の任期の時に教育福祉部会があり、その部会の中で保育園を見て課題をいろいろと検討した。そして、保育園の在り方を地域協議会全体の自主審議でも検討した。全体の協議の中ではそんなに急ぐ問題ではないと、平成26年度での自主審議だが継続審議として取り止め、その後の動きはなかった。

保育課といろいろ話をする中で、柿崎区の保育園を新設したり直したりするには市の保育園の再配置計画に載らないといけないとされ、先般それに載せること

についての説明をしていただいた。

必ずしも市の計画に載る必要はないと思うが、柿崎区の保育園についても何もしないわけにはいかないと皆さんもお考えと思う。その事をご理解いただき、ではどうしようかと。今年は自主審議でスタートし、1回目は全員協議会で、2回目から本会議で話し合いをしていく形になっているので、その段階の中で是非4つの保育園の現状を見ていただき、次のステップに進んでいけたらと思う。

#### 【金子委員】

前期の教育福祉部会でここにおられるのは長井さんだけだ。私は産業振興部会だったから、実際保育園の現状がどうなのかは長井さんの提案書で理解したが、自分で見ていないので実際の状況は把握していない。当時は園長先生とは話しかったかもしれないが保護者会との意見交換はなかったと思う。いずれにしても保護者の意向を聞くのと、子供の数が減ってきているのが時系列で分かっているので何もしないわけにもいかない。どういう方向にするのか、統合するのか、4つすべて残すことに無理があるのか。保護者の考えがわかれば一番よいが、やはり現場を見るのがよいと思う。

#### 【長井会長】

では、実際の保育園を見ていただくことで予定したいがよろしいか。

#### 【各委員】

- ・「よろしいです」の声

#### 【長井会長】

保育園は平日では園児がいてなかなか細かく見ることができない。土曜日であればある程度余裕を持って見るができると思う。

そこで、6月と7月は懇談会もあり大変忙しい月であったので、8月の地域協議会は休みとし、9月9日土曜日の午前中に保育園の視察と地域協議会を予定したいがよろしいか。

**【各委員】**

- ・「はい」の声

**【金子委員】**

保育園の視察は土曜日だが、その時に園長先生はおられるのか。

**【長井会長】**

事前に連絡しておけば園長先生からお話を聞けると思う。

それと、吉川区に新しい保育園ができたので、時間が取れば見ていただくように準備したい。

**【新部委員】**

上下浜保育園は明日にでも建替えをしてもらいたいくらいの施設だと思う。それを見て建替えてくださいと自主的審議事項で地域協議会の声を出したとしても行政は相手にしてくれない。心配されるのは、地域の皆さんが地域協議会が動いたために行政が同調して統合に向かっていると誤解されたら大変なことになる。そこら辺を慎重にやらないといけない。行政から諮問が出てくるには時間があり突然には出てこない。もしも市が統合の諮問を持ってきた時に地域協議会にうまくかけられるか。明日にも壊れそうな上下浜保育園、市は建替えすることができないので柿崎で1つにしましよと持ってくるかもしれないし、いきなり一か所にしましよと持ってくるかもしれない。それを持ってくるには行政として保護者の意見などを聞くと思うが、それを私らが先走って行い、行政の手先になって動いているのではないかと誤解されなくはない。そこら辺が非常に心配で慎重に行う必要がある。

**【長井会長】**

慎重に対応していきたいと思う。

一応9月9日で準備していきたいと思うのでよろしく願いしたい。

これで柿崎区保育園にかかる課題と今後についての審議を終了する。

では、6番目の報告事項に入る。

市からの報告事項が2つある。最初に大雨に関する報告をお願いする。

## 【風巻G長】

- ・資料No.2に基づき被害状況等を説明

## 【古屋G長】

7月1日からの大雨により被災した施設の復旧状況について説明する。  
市道は、資料No.2では道路9件となっているが、最終的に9路線で13件の被害が発生した。

被害の内訳は、道路冠水による通行止め1件、法面崩落による道路上への崩土4件、路肩決壊6件、砂利道の路面洗掘2件となっている。

いずれの箇所も、昨日時点で復旧工事が完了している。

続いて、林道は、資料No.2では8件となっているが、最終的に5路線で9件の被害となった。

被害の内訳は、法面崩落3件、路面洗掘3件、路肩決壊など3件となっている。

昨日時点で、雁海初田1号線と峠線の路面洗掘箇所復旧工事2件を残し、7件の復旧工事が完了している。

続いて、農道、農地を含む農業用施設関係は、資料No.2では農道2件、農地6件、農業用施設13件で21件となっているが、昨日時点で合わせて26件の被害を確認している。

被害の程度や地元の意向を確認し、市の補助制度である小規模災害復旧事業による支援や国の補助制度を利用するための申請準備など、現在復旧作業を進めているところである。

最後に、河川関係は、柿崎川の上小野地内、米山寺川の米山寺地内、米山川の東谷内地内など、いずれも県管理の二級河川においてブロック積護岸が決壊するなどの被害が発生した。

既に応急工事が完了し、国の災害復旧事業で申請するため、現在準備が進められている。

## 【吉井委員】

7月3日の状況をお聞きしたが、氾濫注意水位と準備情報あるいは避難勧告・避難指示、この数字が一般的に外に出ていない。なぜ、角取観測所の水位がこう

なったらこれが出るという数字が公表されていないのか。

もう1点は、避難指示緊急が6時10分から発表されているが、これは発表した時間であって判断した時間ではない。判断は誰がどの時点で行うのかを教えてください。

#### 【風巻G長】

避難準備情報については各総合事務所の所長が判断するが、それ以上のものについては市長が判断する。発表の時間が判断の時間となる。

水位と基準の関係であるが、確かに公表はされていないと思う。皆さんに知っておいていただきたいと思うので、機会をみて公表させていただきたいと思う。

現在、皆さんのところにハザードマップが配られているが、雨の降り方がこの時代と違っており、今回も若干発表が遅れた町内会がある。それはこのハザードマップを見ると水が上がらないという地域であるが、実際には水の危険が迫って来たことで、全体的な見直しもしており、その辺を含め皆さんに分かるように示させていただきたいと思う。

#### 【吉井委員】

重ねて質問だが、6時10分から11時10分の解除の間に段階的に避難指示が出ている。これは角取の観測所だけでの判断ではないような気がするが、何に基づいて市長が判断するのか。

#### 【風巻G長】

市長が判断するわけだが、現場から状況を報告したうえで市長が判断する。現場の判断は消防団が河川の見回りをした結果と、緊急に迫っているということで職員が現地に出向き河川を観測し、超える恐れがあるという情報に基づき、時間を追って順次発表したものである。

#### 【吉井委員】

お願いだが、今の角取観測所の準備情報・勧告・指示の値、これはオフィシャルに発表していただきたい。また、今回の河川の水位状況の数字も区内に公表し



ていただけないか。

**【風巻G長】**

総合事務所の広報紙もあり、機会を通じ公表させていただく。

**【吉井委員】**

もう1点。

避難指示緊急が出たということは、要支援者の避難と、福祉避難所への避難の二段階の避難がある。その方々がどのように避難されたか、私は行政側として必ずそれを把握しておく必要があると思う。機能したのかしなかったのか、それはどうされているか。

**【風巻G長】**

避難所の開設に当たり現場では確認をしている。福祉避難所に関しては機能し実際に非難をされた方もおられる。ただ、要支援者の方が実際に非難されたかどうかの確認はまだできていない。

**【吉井委員】**

できていないのではなく、していないのではないか。

**【風巻G長】**

各町内会長さんに尋ねた部分はあるが、全体的には終わっていない。

**【吉井委員】**

各町内会長さんに要支援者と福祉避難者をどうされたかのヒアリングは開始しているのか。

**【風巻G長】**

一部については聞き取りをしている。まだ全体には至っていない。

**【吉井委員】**

聞き取りはやるのですね。

**【南所長】**

担当が説明したとおりで、まだ動いていない部分はある。幾つかのところは聞き取りをしているが、全体についてどういう形で行うかは決めてないが実施したいと思う。

今、吉井委員から話のあった福祉の関係は本当に重要なことだと思うし、そのほかについても今回の災害で、例えば情報の伝達だとか収集だとか、いろいろなことで課題が見つかった。今それをひとつずつ整理して、早い内にいつまた起こるか分からない災害に備えて整理をしていきたいと思っている。今の話の部分も今後起きた時にどうしたらよいのか、それを含めた検討を大至急行っていく。

**【吉井委員】**

私も町内会長をしているが、各町内会長が要避難・要支援者と福祉避難者を全部調査して行政に提出している。それで今回はほとんど被害がなかったの、なくてよかったではなく、せつかくやっている調査が実際には機能していなかった方が多かったと思う。各町内会に2人から10人くらいの要支援者がいるはずだが、その方々をどういうふうに確認したのかを把握した方がよいと思う。下黒川地区では角取の町内会長が要介護5の方を避難させるに当たって、どうしてよいか分からないと。私が心配したとおりであり、要介護5の方は寝たきりになっているから一般の人は連れては行けない。実際に連れて行けなかった。大事に至らなかったからよかったが、結局無理なのではないかというのが本当の話で、でも行政側から言わせれば無理であったとは言わないと思うが、そこらを総括する必要があると感じている。今回の事で緊急避難指示が出た後どうなったのかを行政で把握しておいていただき、今後の対策としていただきたい。

**【島岡G長】**

今の福祉避難所に関して、避難指示の出た町内会においては8人の対象者がいた。これについて福祉課で福祉避難所へ開設の連絡を入れ、総合事務所からはそ

それぞれ対象者の自宅に直接連絡を入れさせていただいた。この8人の内3人は福祉避難所に避難していただいたし、ほかの2人についてはまだ自宅で様子を見るという答えであった。また2人は当日デイサービスを利用とのことで施設へ移動されたし、残る1人は施設に入所中とのことで避難はされていなかった。

今お話のあった角取の要介護5の方は、当日はデイサービスを利用されていた。この方については更新手続きの最中であり、福祉避難所への避難の正式決定がなされていなかったため高齢者支援課と連絡を取り、福祉避難所への避難許可が出されて自宅へ連絡を入れた。しかし、ご本人はデイサービスを利用中で奥さんとも連絡が取れなかった。お昼頃奥さんが総合事務所に来られたので内容を説明した。デイサービスが終わった段階では避難指示が解除されており、自宅に戻られたという状況で、こちらとしては対象者それぞれに連絡を入れた。

**【長井会長】**

ほかによろしいか。

では、報告事項2番目の「新潟県警察本部運転免許センター上越支所について」説明願う。

**【風巻G長】**

先回の地域協議会で質問のあった新潟県警察本部運転免許センター上越支所の件である。

この件は、直接上越支所長に尋ねてみた。その結果、現在の県警察本部運転免許センター上越支所の建物については、老朽化が進んではいるが、建替えの話が具体的にある状況ではないと回答をいただいた。

**【長井会長】**

よろしいか。

もう1件「クマの目撃情報について」説明願う。

**【島岡G長】**

既に防災行政無線で注意喚起の放送をさせていただいたので、皆様も十分ご承

知かと思うが、寄せられた内容と市の対応について報告させていただく。

7月に入り柿崎区において2件のクマの目撃情報が住民から寄せられた。

1件目が7月22日と23日の午後7時頃、山谷地内の長井左官工業自宅裏で、2件目が本日午前6時頃、同じく山谷地内の第2デイサービスセンター付近で、いずれも体調1mくらいのクマ1頭が近くの山に立ち去ったという目撃情報だ。

幸い人的・物的被害はなかった。

この情報に伴い柿崎区総合事務所が執った対応として、2件とも先ずは注意喚起、そして周知の対応としては周辺町内会への回覧文書の作成・配布、防災行政無線による全区個別一斉放送、そして区内保育園と小・中学校への情報提供、目撃付近への看板設置等を行った。

また、職員による現場確認と目撃者への聞き取り、そして猟友会による現地調査を行った。

関係機関への情報については、上越警察署に連絡をするとともに、市の環境保全課に通報し協議を行った。

なお、猟友会による現地調査の結果、付近でイノシシの足跡は確認されたものの、クマの足跡に関しては落ち葉の堆積や草が茂っていたことで確認できなかった。このためクマとは断定できないが、今後とも注意喚起を行うようにと猟友会から話があった。

今後クマが出没する可能性があるが、クマを目撃されたら警察あるいは総合事務所に連絡をお願いする。

#### 【新部委員】

クマを目撃した人は何人もいるのか。

#### 【島岡G長】

22日、23日については同じ人が、その一週間前にもその人のお父さんが付近の溜池で見たということで、1件目については2人の目撃だ。

本日の目撃については1人だ。奥さんがたまたま自宅のカーテンを開けたら自宅脇の道路を通り第2デイサービスセンターに向かって行き、道路右側の茂みに入って行ったということである。

合計3人である。

**【金子委員】**

猟友会で狙撃はしないのか。

**【島岡G長】**

市街地とか人的に被害を与えているような状況だと射殺等されるが、目撃情報なので本当にクマが出没したのか現地調査をしていただいた。

**【長井会長】**

ほかになれば報告事項を終わらせていただく。

次にその他案件に入る。

次回、第6回の地域協議会は9月9日（土）で決めていただいている。

時間は8時30分に集合いただき、午前中で全て終了させたいと思う。

その他案件で何かないか。

**【片桐委員】**

頸北地区合同研修会の件、詳細はこの9日に決まるのか。

**【長井会長】**

9日まで検討させてほしい。

**【片桐委員】**

そうなる、土日を含みますので案内が遅くなると思うが大丈夫か。

**【長井会長】**

講師等の都合で日程などが決まったら早目に案内を出したいと思う。

**【長井会長】**

それでは、8月の地域協議会は休ませていただくのでよろしくお願ひしたい。

これから地域活動支援事業の行事が目白押しであり、時間があれば是非会場へ

出掛けていただきたい。

また、8月5日に柿崎時代夏まつり、6日には柿崎の花火が行われる。時代夏まつりには中学生が地域貢献で参加される。是非見ていただき、応援していただきたいと思う。

**【長井会長】**

・閉会を宣言

(午後8時22分閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL : 025-536-6701 (直通)

E-mail : [kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。